

芸能人CM 一部実態なし

所得隠し国税指摘 アンファー 1.5億円

抜け毛や薄毛の悩みを芸能人が明るく語る男性用シヤンプーのCMで業績を伸ばしている化粧品会社「アンファー」(東京)が東京国税局の税務調査を受け、2011年3月期までの2年間で約1億5千万円の所得隠しを指摘されたことが分かった。広告宣伝費の一部について、宣伝の実態がなく寄付金にあたる」と指摘された。重加算税を含む追徴税額は約5千万円で、同社は

修正申告した。

関係者によると、同社は11年3月期までの2年間にそれぞれ約20億円の広告宣伝費を都内の広告会社に支払い、商品のイメージアップを依頼した。広告会社はSMA Pの中居正広さんや草薨剛さん、雨上がり決死隊の宮迫博之さんや蜷原徹さんら約20人の芸能人と契約。テレビやネットのCMなどを企画し、放送した。国税局は約20人のうち4人について、テレビとネット

のCMともに出演していないと指摘。アンファーが

広告会社に支払った広告宣伝費のうち、10年3月期に支出した約4千万円と11年3月期の約1億1千万円について、CMに結びついておらず宣伝の実態がなく、広告会社を支援するための寄付金にあたる」と判断。広告宣伝費に仮装したとして重加算税の対象とした。アンファーは取材に「CMに出ていなくても、芸能人がネットでつぶやくなど

すれば口コミの宣伝効果が期待できるのに、理解を得られなかった」と説明。「広告の概念について国税局と見解の相違があったが、指摘に従い全額を納税した。従来以上に税務コンプライアンスを徹底する」としている。

民間信用調査会社によると、同社は87年設立。09年ごろから芸能人を積極的にCMに起用し、主力商品の男性用シヤンプー「スカルブD」をヒットさせた。業績も急伸し、13年3月期の売上高は5年前の8倍の約105億円。サッカーのリオネル・メッシ選手やEXILEのメンバーらをCMに起用したこともある。

(村上潤治)